

事務事業名		花いっぱい運動事業			☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業								
政策体系	政策名	相互に理解し、尊重しあう地域社会の実現			事業期間		予算科目								
	施策名	共に生きる地域づくりの推進					会計	款	項	目	事業				
	基本事業名	自主的な地域活動の促進			☐ 単年度のみ		-	-	-	-	-				
根拠法令				☒ 単年度繰返 (開始 昭和42 年度 ~)											
				☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度 ~ 年度											
				全体計画欄の総投入量を記入											
所属	部課名	教育委員会事務局生涯学習課													
	係 名	中央公民館	電話	26-3166											
			内線	-											
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)											全体計画(期間限定複数年度のみ)				
・明るく住みよいまちづくり運動の一環として、家庭・地域・学校等が花と緑を育てる活動を通じて、市民が自然や地域社会に親しみ、豊かで潤いのあるまちづくりと環境美化に対する意識を高める事業。 ・事業の内容は、花の種子・苗の配布、花づくり講習会、花いっぱいコンクールを行う。 ・主な業務は、地区公民館への種子・苗のあっせん(注文と有償配布)、小中学校へ種子・苗の配布(注文と無償配布)、花づくり講習会の開催(計画立案、広報、参加受付、講師依頼、実費回収など)、花いっぱいコンクール開催(募集広報、審査員3名の依頼、地区訪問による審査、各賞の決定、表彰の賞状筆耕など)、小中学校に対する花いっぱい運動への参加呼びかけ。市民運動推進協議会と中央公民館が共催で実施している。 ・事業費は、市民運動推進協議会の費用が充てられる。											総 投 入 量 (千 円)	事 業 費	財 源 内 訳	国庫支出金	
														都道府県支出金	
														地方債	
														その他	
														一般財源	
														事業費計 (A)	0
人 件 費	正規職員従事人数														
	延べ業務時間														
	人件費計 (B)	0													
トータルコスト(A)+(B)											0				

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標

手段(主な活動)		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		名称	単位
・花の種子・苗の配布		ア 種子のあっせん・配布団体数(公民館)	団体
・花づくり講習会の実施		イ 花づくり講習会参加者数	人
・花いっぱいコンクールの実施		ウ 花いっぱいコンクール参加個人・団体数	組
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
前年度と同様に実施する予定だったが、東日本大震災により事業の見直しを行い、花づくり講習会、花いっぱいコンクールは休止とし、花の種苗の配布と支援物資で頂いたチューリップの球根と市民運動推進協議会で購入したピオウを復興した公園やプランターに植栽し、仮設店舗に引き渡す計画。		名称	単位
対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		カ 地区・地域公民館数	団体
・地区公民館、地域公民館		キ 小中学校数	校
・小・中学校		ク 人口	人
・その他一般市民、諸団体		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		名称	単位
・自然や地域社会に親しむ。		サ コンクール(公民館の部)応募団体	団体
・豊かで潤いのあるまちづくりと環境美化に対する意識を高める。		シ 花いっぱい運動参加小中学校数	校
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		ス コンクール(一般の部)応募者数	人
自主的に地域活動に参加してもらう。			

(2) 総事業費・指標等の推移

			年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円					
			都道府県支出金	千 円					
			地方債	千 円					
			その他	千 円					
			一般財源	千 円					
			事業費計 (A)	千 円	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	2	3	3	3
		延べ業務時間	時 間	200	200	190	190	190	190
		人件費計 (B)	千 円	800	800	760	760	760	760
		トータルコスト(A) + (B)	千 円	800	800	760	760	760	760
活動指標		ア	団体	16	10	11	5	11	17
		イ	人	14	27	39	21	24	25
		ウ	組	35	27	27	29	26	24
対象指標		カ	団体	144	144	144	144	143	143
		キ	校	22	22	22	22	22	22
		ク	人	43209	42575	42158	41684	41334	40537
成果指標		サ	団体	25	21	23	23	20	19
		シ	校	5	2	8	6	13	14
		ス	人	5	4	4	6	6	5

事務事業ID	0862	事務事業名	花いっぱい運動事業
--------	------	-------	-----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等 この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 家庭・地域・学校等が花と緑を育てる活動を通じて、自然や地域社会に親しみ、豊かで潤いのあるまちづくりと環境美化に対する意識を高めるため、昭和42年度から開始された。 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ 花いっぱい運動は徐々に市民に浸透してきており、市内各地域においてコンクール等に参加しない地域でも独自に花壇や花づくりを行っており、潤いのあるまちづくり活動が活発になってきている。コンクールにおいては、平成19年度より学校の部を廃止し、小中学校に対し本運動への参加協力をお願いしている。また、東日本大震災で被災した花壇が多く、コンクール実施再開には時間がかかるものと思われる。 この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 花づくり講習会に参加した市民から、参加してよかったとの意見が沢山寄せられている。引き続き実施して欲しいとの要望が多数寄せられている。また、コンクールについても、花壇の配色などにそれぞれ工夫が見られ、日頃の努力の成果が現れている。種子の配布については、種から花へ育成するのが困難で、学校や公民館から苗での配布は出来ないかとの要望が寄せられ、種子に加え、苗の配付を実施したところ、好評であった。
--

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] 豊かで潤いがあるまちづくりと、そこに住む方々の心を育む一助となっている。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] 自然や地域社会に親しみ、豊かで潤いのあるまちづくりと環境美化に対する意識を高める事業は、市内全域を対象として実施することが必要である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] 市内全域を対象としている事業であり、適切である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない [理由] コンクールにおいて個人の参加があまり多くない。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] コンクールを廃止すると、花づくりに対する市民の意欲が薄れる可能性が考えられるため、花づくりによる潤いのあるまちづくりが定着する間は廃止できない。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない [理由] 類似の事業はない。 ☒ 他に手段がない [理由]
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 中公民館として予算措置はなし。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 花づくりコンクールの審査日程、講習会の事務作業等、最低限の所要時間で事務を行っている。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] 受益者の負担は講習会時の実費のみ。

事務事業ID	0862	事務事業名	花いっぱい運動事業
--------	------	-------	-----------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 種子に加え苗の配付を実施したところ、小中学校の申込が増加した。講習会とコンクールの結びつきを強化し、花づくりへの関心をさらに高めることで参加者の増加を図る。									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																					
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 市内各所に花の種苗を配布又は輪旋し、花づくりによる潤いのあるまちづくりと環境美化を進める。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 東日本大震災後、瓦礫処理をした景色が目映ることから、花いっぱい運動の取組みを強化し、まちの復興につなげる。																							

(職 名) 原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者 生涯学習課長

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 概ね適切な事務事業執行がなされているが、地域公民館や個人の参加をより促進する必要がある。一方、コンクールに参加しなくても、花づくり・花壇づくりをしている市民も多くみられることから、花いっぱい運動は市民に浸透しているという見方もできる。									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																						
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 継続して事務事業を実施するが、東日本大震災の復旧、復興事業を優先しながら、PRや花づくり講習会の内容を工夫し、参加の増加に努める。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
